

国際性が高い大学の取り組み一覧

国際性の高さで定評のある大学*1に協力を仰ぎ、その取り組みを一覧化した。グローバル人材育成プログラムを再構築する際の参考にしてほしい。

*1 THE世界大学ランキング2018の「国際性」分野の上位ランクイン校と今回取材した大学。「国際化を示す主な指標」はTHE世界大学ランキング日本版のデータ、もしくは大学公表値を参考データとして掲載

大学	所在地、学部・学科数、学生数	国際教養大学	立命館アジア太平洋大学 (APU)	国際基督教大学	東京外国語大学	上智大学	京都府国語大学	名古屋商科大学	名古屋外国語大学	東京国際大学	神戸市外国語大学	福岡女子大学	武蔵野大学
		▶秋田県秋田市 ▶1学部2課程 ▶学生数884人	▶東京三鷹市 ▶1学部2学科 ▶学生数約5471人	▶東京都三鷹市 ▶1学部1学科 ▶学生数3111人	▶東京都府中市 ▶2学部2学科 ▶学生数3907人	▶東京都千代田区 ▶9学部29学科 ▶学生数13281人	▶京都府京都市 ▶2学部11学科 ▶学生数4298人	▶愛知県日進市 ▶2学部10学科 ▶学生数3288人	▶愛知県日進市 ▶2学部10学科 ▶学生数4654人	▶埼玉県川越市 ▶5学部9学科 ▶学生数6507人	▶兵庫県神戸市 ▶1学部3学科 ▶学生数2148人	▶福岡県福岡市 ▶1学部3学科 ▶学生数1036人	▶東京都江東区 / 西東京市 ▶9学部18学科 ▶学生数8743人
	育成をめざすグローバル人材像	豊かな教養とグローバルな知識、卓越した外国語の運用能力を身に付けた真のグローバル人材を育成	自由と平和を追求する人間として、人間の尊厳に対する畏敬の念を抱き、世界で、日本で、それぞれの住む地域や立場で、他者のために、社会のために行動する人材	キリスト教の精神に基づき、世界人権宣言のもと、平和を構築する地球市民としての教養と責任を身に付け、神と共に奉仕する有為の人材の育成	広い視野と優れた言語運用能力、世界の諸地域に関する深い知識を備え、異文化間の相互理解に寄与し、日本と世界を結び、地球的課題に取り組むことのできる人材	確かな専門性と国際通用性のある教養を身に付け、グローバル化、高度情報化の変化に柔軟に対応し、新しい社会の価値、倫理の創造に寄与する「グローバル市民」	国際社会の平和に貢献し、次世代を担う「人間力」豊かなリーダーを育成	大学のミッションである「フロンティアスピリット」を備えたイノベティブで倫理観ある人材	21世紀の地球社会で活躍できる国際感覚豊かな人材	公徳心を体した真の国際人	2か国語以上の外国語を修得し、それぞれの言語の特性とその背後に広がる文化と社会に通じた「洗練された外国語能力」を備えた人材	次代の女性リーダーを育成	世界の多様な人々と響創しながら世界の幸せのために行動できる人材
主な指標	日本人学生の留学比率	30.8%	24.0%	14.7%	20.3%	9.1%	9.0%	8.9%	24.4%	6.3%	14.8%	16.3%	3.4%
	外国人学生比率	26.2%	53.4%	10.0%	8.5%	10.4%	5.7%	15.9%	2.4%	16.0%	4.3%	12.1%	5.3%
	外国人教員比率	48.8%	50.2%	28.0%	16.0%	28.0%	28.4%	28.4%	33.0%	24.0%	14.6%	15.8%	4.1%
	外国語による講座(語学以外)比率	80.4%	89.0%	36.2%	23.3%	22.5%	27.4%	27.4%	11.1%	27.1%	21.1%	4.6%	1.7%
	海外大学間交流協定数	193校	429校	79校	146校	338校	73校	140校	72校	349校	40校	27校	100校
日本人学生教育	入試での英語4技能の評価	▶一般選抜において、英語外部検定の結果によりセンター試験英語科目を満点に換算 ▶入試タイプにより英語面接、英語小論文試験を実施	▶一般入試の一部で英語外部検定の結果により「外国語」を満点に換算	▶一般入試B方式、帰国生入試、AO入試で英語外部検定の結果を書類審査に活用▶新設の国際日本学部では、スピーキング能力を測る独自の試験を実施予定	▶推薦入試、帰国生等特別推薦入試で英語外部検定の結果を書類審査に活用▶新設の国際日本学部では、スピーキング能力を測る独自の試験を実施予定	▶全学部一般入試(国際教養学部、理工学部英語コースを除く)で、TEAP利用型入試を実施。各学科ごとに出願基準点を設定▶特別入試は、ほぼ全学部で英語外部検定の結果を出願要件	▶公募制推薦入試と一般入試において英語外部検定の結果をみなし方式で活用	▶英語外部検定の結果を全学部の推薦入試で加点利用、一般入試で英語の受験免除	▶英語外部検定の結果を加点利用。入学後は単位認定要件とする	▶グローバルコース入試で、英語外部検定の結果を出願要件とする	▶一般入試では英語(R+W)を課す▶推薦入試【全国枠】と編入生試験では、英語外部検定の結果が出願要件▶英米学科・国際関係学科・第2部英米学科では面接の一部を英語で実施	▶一部の入試で英語外部検定の結果を活用	▶全学部で「英語外部検定活用方式」を実施し、結果をみなし方式で利用
	全学的な英語教育の工夫	▶全て英語による少人数教育▶1年次のレベル別英語集中プログラムで学術英語を徹底指導▶外国語の自律学習をサポートする専用施設あり▶英語外部検定の学内実施のほか、無料受検や受検料を補助	▶授業の約9割を日本語と英語の両方で開講▶英語教育は習熟度別少人数クラスで実施▶上級クラスでは英語での論文作成や討論実施▶英語クラスでは英語外部検定の結果を成績評価に活用▶海外言語研修・留学プログラムを用意	▶1年次に「英語で考え、英語で対話し、英語で発信する」力を身に付ける「インテグレート」英語プログラムを履修▶全科目の30%超を外国語で開講▶英語外部検定の対策授業・講座や受検料の負担▶英語で執筆する卒業論文のブループリント支援	▶入学時と1、2年次末に英語外部検定を全員受検▶英語力を磨く「GLIP英語科目」と国際的な教養や専門知識を身に付ける「英語による科目」を多数開講。一部の授業はカリフォルニア州の諸大学と遠隔共通授業による、実践的な英語教育を実施	▶CLIL(内容言語統合型学習)の手法を用いた豊富な選択科目群▶英語学習アドバイザーの相談を基に学習イベントを企画▶学修成果を記録できるシステムを構築、指導に活用▶大学院生や上級生が「外国語コミュニケーショングループ」で、授業外の英語学習機会を提供	▶自律学習を促し、学修成果の定着を図るため、アクティブラーニングを導入▶外国語学部の専攻語科目は習熟度別少人数制クラス編成を維持	▶留学生と英語で学ぶビジネス講義の実施▶多様な留学プログラムの設置▶留学奨学金制度を設置し留学を推奨▶年4回の英語外部検定を学内実施▶外国人教員によるOffice Hourの実施▶留学生や外国ボランティアとの交流機会提供	▶ネイティブによる少人数クラスで英語教育プログラムを実施▶常駐するネイティブ教員と留学レベルのコミュニケーションを取ることでできるEnglish PLAZAを設置▶American Studies Program等の各種留学プログラム実施	▶模擬国連世界大会への参加▶日本大学英語模擬国連大会への参加▶英語の全国大学生マーケティングコンテスト実施▶英語で授業を行う国際コミュニケーションコースの一部授業を全学開放▶英語外部検定成績優秀者表彰▶英語チャット機会提供	▶英語は15人ほどの習熟度別少人数クラス▶English Villageを開催し、国内留学疑似体験を提供▶在学中に英語外部検定を3回以上受検▶全学生対象の外国人短期留学生受入プログラムの受講や英語によるサマープログラムで留学生との共学を奨励	▶選択制のプログラムであるグローバル・リーダーシップ・プログラム(GLP)により、海外語学研修、オンライン英会話など、チャレンジ精神旺盛な学生を支援	
	マインドセットの工夫	▶1年間の海外留学が義務▶留学生とのアクティブラーニングによる授業▶全学生の80%以上はキャンパス内に居住し、留学生割合が常時20%以上の多文化共生のキャンパスライフ▶学びのテーマを設定した「テーマ別ハウス」による24時間リベラルアーツ教育	▶1年次の必修科目として留学生と一緒にグループワークを行う「多文化協働ワークショップ」を開講。この授業を通じて異文化や価値観への理解、国際学生との交流を深める	▶多様なあふれるキャンパス・トレジャー校(米)で、英語・外国語教授法、通訳・翻訳、国際政策・開発分野を最短1年間で修士号取得可能なプログラムを実施	▶短期含む留学の単位認定を制度化▶英語外部検定の結果を履修する全学イベント「留学フェア」を実施▶全学共通科目「留学準備講座」の開催▶夏・冬学期に100種類以上の短期留学プログラムを開設▶「留学支援共同利用センター」での1対1の留学相談受け付け▶2	▶海外インターンシップ、セミナーなど短期集中型語学研修や、長期留学などの多彩なプログラム▶各学科がそれぞれの言語圏の文化や芸術を紹介するナショナル・ウィークを毎年開催▶語劇祭、模擬国連、各国大使等による講演会の開催	▶研修系の海外プログラム(インターン、ボランティア)と学修系の海外プログラム(サマープログラム、交換留学)など多様なプログラム▶海外プログラム参加前に事前研修を実施▶トップレベルの海外校との提携、奨学金、国際交流部門によるサポート	▶短期・中期・長期の多彩な留学プログラム▶ディズニーや航空サービスなどの独自留学プログラムあり	▶留学全般の相談ができる専門のカウンセラーを設置▶「留学プランニング」の科目を設置▶初年次必修科目「大学生生活デザイン演習」では国際交流課職員が留学について説明	▶短期、長期海外派遣留学制度の実施▶英語外部検定対策講座・受検料補助の実施▶本学独自の留学補助・奨学金制度	▶1年次は全員「国際学友会」で共同生活▶学術英語プログラムの必修化▶国内外の多様なプログラムとの相乗効果による、国際感覚と協調と融和の価値観の醸成、社会適応力を育成	▶1年次は全員「国際学友会」で共同生活▶学術英語プログラムの必修化▶国内外の多様なプログラムとの相乗効果による、国際感覚と協調と融和の価値観の醸成、社会適応力を育成	▶学生の学修計画に合わせて、長期留学制度(2制度)、短期留学制度(2制度)を用意。複数制度を組み合わせて留学することも可能▶1年次必修科目のフィールド・スタディーズでも海外プログラムを用意
	海外大との国際共同学位取得	—	▶アジア太平洋地域でセントエドワード大学(米)、ザルツブルグ応用科学大学(オーストリア)、慶熙大学(韓国)とダブルディグリープログラムを実施	▶ミッドルベリー国際大学院モンロー校(米)で、英語・外国語教授法、通訳・翻訳、国際政策・開発分野を最短1年間で修士号取得可能なプログラムを実施	▶大学院総合国際学研究所博士前期課程で、エアフィット大学(コロンビア)とダブルディグリープログラムを実施	▶SOAS(英)と日本研究分野でダブルディグリープログラムを実施。チャランコン大学(タイ)やジャネーブ国際開発大学院と新規プログラム導入予定	▶検討中	▶フランス、ドイツの3大学とダブルディグリープログラムを実施	—	▶米のウィラメット大学、南オレゴン大学とダブルディグリープログラムを実施	▶エルミラ大学(米)とダブルディグリープログラムを実施▶モナッシュ大学(豪)とダブルディグリープログラムを実施	▶国際共同学位プログラムへの発展を視野に、マヒドン大学(タイ)、梨花女子大学(韓)と食・健康分野の共同サマープログラムを実施	▶国際化推進委員会にてダブルディグリープログラム導入に向け検討中
留学生支援	イングリッシュ・トラックの設置	▶あり	▶全学部で英語のみでの学位取得が可能	▶海外からの学生が日本を学ぶ場であるため、英語のみで卒業可能コースは設けず、日英バイリンガル教育を徹底	▶一部博士課程は英語のみで学位取得が可能▶学生課程の一部カリキュラムで英語の教育プログラムを履修可能	▶国際教養学部、理工学部環境理工分野の英語コースを設置。20年秋から6学科連携の新プログラム開設予定	▶国際貢献学部グローバルスタディーズ学科に設置	▶経営学部にて4年間英語のみで学位取得可能なGlobal BBA*5を設置▶全講義ケースメソッドを採用	▶経済学部、国際関係学部、経済学研究所、国際関係学研究所、商学研究科に設置	—	—	—	▶グローバル学部グローバルビジネス学科に設置
	日本人学生との交流促進の取り組みや学習・生活支援制度	▶1年次は全寮制での共同生活▶クラブ・サークル活動と一緒に参加▶留学生を交えた国際協働PBL▶日本語プログラム、日本研究プログラム▶到着後1週間以内のオリエンテーション▶独自奨学金▶年間200回を超える地域との交流活動▶提携校とのパートナーズプログラム(短期プログラム)▶英語での健康相談/特別支援相談	▶国際寮での共同生活▶TA、RA*3などのピアラーニングや正課での交流のために多文化協働学修を実施▶習熟度別日本語クラス▶ピザの更新、資格外活動申請サポートデスク、住居保障制度、住所登録、銀行口座開設サポート▶バディ制度▶サークル紹介冊子、カウンセリングルームの英語対応▶主にイスラム教徒の学生にQuiet Room設置▶学生食堂でムスリムフレンドリー認証を取得	▶来日時の空港での出迎え▶住民登録と国民健康保険加入のための市役所ツアー実施▶学修面のオリエンテーション▶クラブ・サークル紹介▶キャンパス内の学生寮での共同生活▶1泊2日の学外研修でICU理解醸成と交流促進▶7段階の日本語教育プログラム提供▶全科目の61.5%は日英でシラバスを公開▶全部署およびカウンセリングセンターの英語対応	▶ラウンジにおいて留学生とのスピーキングセッションを実施▶キャリア支援▶教職員と学生が協働で企画・運営する交流交流プログラム▶多様なレベルに対応する日本語科目群▶大学院生による「日本語学習サポート制度」、漢字マラソン」等、授業外履修▶日本語教育講座▶バディ制度▶サークル紹介含む各種ガイダンスや履修相談会	▶学生寮ではリビンググループリーダーが連携、交流▶キャリア支援▶教職員と学生が協働で企画・運営する交流交流プログラム▶多様なレベルに対応する日本語科目群▶大学院生による「日本語学習サポート制度」、漢字マラソン」等、授業外履修▶日本語教育講座▶バディ制度▶サークル紹介含む各種ガイダンスや履修相談会	▶留学生を交えたPBL▶外国語自律学習支援室でのランチチャット▶季節ごとのイベント▶住居探しサポート▶バディ制度▶入寮時、日役所での手続きサポート▶学校・日常生活、部活紹介などのガイダンス▶研修旅行、伝統行事等のフィールドワーク▶進路ガイダンス▶TAによる日本語-英語学習支援▶ランゲージセンターで英語と日本語の集中講座	▶学生が英語を教え合うLanguage Exchange Programあり▶国際学生寮、シェアハウス型学生寮の設置▶国際交流サークル▶日本語科目開講▶Language PartnerおよびCESA*4がサポート▶留学生サポートデスクを設置し、各種申請対応▶就職支援、インターンシップ支援	▶日本人学生と共に英語で学ぶグローバルジャパンスタディーズ▶季節ごとの交流イベント▶バディ制度▶全員留学生寮に入居し、日本人学生がRA*3として生活をサポート▶全員に奨学金を支給。授業料一部または全額免除	▶留学生と日本人学生との交流促進イベントを開催▶国際学生寮にRAを配置、ピアアシスタントが日々の生活をサポート▶防災ガイダンス、クラブ、サークル紹介ガイダンス、就職等各種ガイダンス▶生きた日本語を学ぶJapanese PLAZAを設置▶キャリアサポートデスクを設置▶英語対応のカウンセラー配置	▶GAIDAI Chatの開催(語学交流機会の提供)▶学生主催の交流イベントの開催▶JLP(日本語プログラム)サポート▶防炎ガイダンス、クラブ、サークル紹介ガイダンス▶就職等各種ガイダンス▶生きた日本語を学ぶJapanese PLAZAを設置▶キャリアサポートデスクを設置▶英語対応のカウンセラー配置	▶Language Cafeや多様なプログラムなどでの交流▶インターナショナル・ラウンジ設置▶課程修了まで寮居住を保障▶入学料の免除▶ベトナム・韓国・マレーシアで渡日前入試実施▶現代日本語プログラム生のみ	▶国際交流スペース▶「留学生の会」や地域支援団体による国際交流イベント実施▶留学生、日本人学生の双方がサポーターを務める制度あり▶葛西国際寮での交流イベント実施▶奨学金制度あり
学内の国際化、広報	学内環境の国際化(書類、掲示物の英語化や教職員の語学能力向上のための支援、人材確保の施策など)	▶学内の全窓口が英語対応可能▶学内連絡や事務局で作成する掲示物は日英併記▶職員の海外研修派遣▶職員採用の条件に英語力を付加▶教員は国内外から広く公募	▶日英2言語公用語による大学運営、情報発信▶教職員の英語外部検定受検料補助▶TOEIC800点以上を専任職員の半数が保有▶受験生向け広報冊子は日英併記▶原則教員は英語で授業を行えることを条件とし、全て国際公募	▶学内掲示や業務は日英2言語で対応▶海外での教育・研究経験を持つ日本人教員88.7%、全職員の54.1%がTOEIC800点以上▶英語での教授法の質向上をめざす海外プログラム▶職員に語学研修や海外研修を提供▶専任教員は原則国際公募。任用条件に教授言語を指定。英語による開講科目数の確保	▶外国人教員の言語サポート。各種手続き、申請書・掲示物等は英語版を用意▶事務職員の語学能力向上のために国内・国外研修▶事務職員の英語外部検定受検料補助▶教員採用は、求人公募サイトや本学サイトに掲載するなど、国際公募	▶各種申請書、通達文、学内掲示は原則日英併記もしくは英語版を用意▶職員は海外研修への参加促進、英語学内看板の英語表記▶国際交流協定校からの招へいや公募等で外国人教員を採用▶教員採用は海外での教育研究業績を評価	▶各種申請書、通達文は、可能な限り日英併記▶英語や中国語が堪能な職員を採用▶案内向上のためSD研修▶案内看板の英語表記▶国際交流協定校からの招へいや公募等で外国人教員を採用▶教員採用は海外での教育研究業績を評価	▶Global BBAの設置▶各種申請書は英語版を用意▶国際会議の誘致▶提携校の拡大▶国際経験のあるスタッフの配置▶教職員は国内外から広く公募	▶留学生別科の設置▶国際交流部に専門スタッフ(ネイティブ含む)を複数配置▶ネイティブの教職員を積極的に採用	▶各種申請書や掲示物は原則英語版を用意▶ネイティブ職員を配置▶教員は国内外から広く公募。国外から赴任の場合、各種手続きや基本生活スタート支援などを実施	▶職員の外国語運用能力向上支援のため、英語レッスン無料受講、英語外部検定受検料補助など▶各課に英語堪能な職員を配置▶語学司書を配置▶案内看板の多言語表記、学内事務連絡の英語化▶教員募集要項は英語版を作成し、国内外から広く公募▶職員採用で英語能力に加点	▶掲示物の日英併記を推進▶研究者ネットワーク促進を目的の本学主導コンソーシアム形成▶女性教職員短期海外派遣研修▶教員は国内外から広く公募し、一部英語の採用情報を掲載▶国際化推進センターは外国語運用能力と留学経験を持つ人材を配置、外国籍の職員も登用	▶全職員が年1回英語外部検定を受検。ICカード(職員証)のストラップの色で得点率(語学対応力)が識別可能▶多様な言語が識別を有した人材を積極的に採用
	海外広報施策	▶留学生向け英語WEBサイト、パンフレット、公式Facebookを展開▶国際会議参加や提携校への訪問、受け入れを通じて信頼関係の構築	▶受験生向け広報は8言語で発信、その他全ての情報発信(紙媒体、HP、SNSを含む)は日英2言語で実施	▶WEBサイトの英語対応、簡体字、繁体字、韓国語での大学紹介ページを用意▶重点地域の現地広報媒体へ広告掲載や大学説明会を実施	▶世界17か所の大学にグローバルジャパンオフィスを設置。現地学生へ日本語教育、留学支援、日本文化発信等を実施	▶WEBサイトの英語対応、中国語、韓国語での大学紹介ページを用意▶英語広報誌を各国駐日大使館や在外公館等に送付▶海外8拠点で広報活動を展開▶Google検索広告活用	▶WEBサイトの英語対応▶大学案内パンフレット、大学紹介動画は5言語で展開	▶海外の日本語教育機関が発行する留学情報誌に大学紹介を掲載▶海外の留学フェアに参加▶WEBサイト、大学案内の英語版作成▶留学ポータルサイトに大学情報を7か国語で公開	▶WEBサイトの英語対応▶専門スタッフが毎年複数回、協定校へ訪問▶3大留学フェアに参加	▶海外向けのWEBサイト▶学内に海外広報専門の部署を設置	▶WEBサイトの英語対応▶大学院案内の英語版作成	▶WEBサイトの英語対応▶IPSSに日英の学案内、入試案内を掲載▶海外の留学フェアに参加▶海外の高校や日本語教育機関で大学説明会を実施▶NAFSA、EAIE、APIAE*6に参加	▶WEBサイトの英語・中国語対応▶Weiboを通じての情報発信

*2 本学の学生だけでなく他大学の学生も利用可能
*3 RA：レジデント・アシスタント

*4 CESA：留学生との交流イベントを企画運営する学生団体
*5 Global BBA：Global Bachelor of Business Administration
*6 NAFSA：米国を拠点とする国際教育交流団体、EAIE：欧州の国際教育交流団体、APIAE：アジア太平洋地域の国際教育交流団体